

魅力度

観光客など国内外の人々が訪れたくなり、こどもたちが将来も暮らしたいと思える徳島の「魅力」を高めます。

●徳島国際化元年



- タイ・プーケット県との「交流推進を目的とする覚書」締結(R7.5.13)
- 韓国・済州特別自治道との「友好協力都市協定」締結(R7.11.3)及び「ミッション団」の派遣(R7.11.1～11.4)

●とくしまの魅力向上、にぎわい創出による観光誘客



- 「大阪・関西万博」関西パビリオン徳島県ゾーン・多目的エリアの来場者数は、目標の42万人を大きく上回る約51.6万人
- 「徳島おどりフェスタ2025」を開催し、パレードには延べ約6万6千人の来場者(R7.11.1～11.2)

●国内外から徳島に集結した国際的イベント



- 「食の力は無限大∞～徳島から未来へつなぐ食育～」をテーマに「食育国際会議」や日本を代表するシェフによるトークセッションを実施し、約2万4千人が来場
- 国際消費者シンポジウムin徳島(R7.6)や宇宙技術および科学の国際シンポジウム(R7.7)の開催

●関係人口の創出・拡大に向けて



- 徳島県への移住者は令和7年度上半期、過去最高の1,620人(前年同時期比106.8%)
- 東京徳島県人会総会・県人の集い(R7.10.26)や九州・とくしまゆかりの集い(R7.11.15)、徳島ゆかりの交流会in関西(R7.3.4)を実施し、計800人を超える参加者

安心度

激甚化する自然災害への防災・減災対策と、誰も孤独にしない社会づくりで県民の「安心」を高めます。

●危機管理体制の充実と県土強靭化・レジリエンスの推進



- 孤立対策と避難所QOL確保を重点項目として三好市を主会場に実施した総合防災訓練(R7.10.24)
- 徳島自動車道暫定2車線区間の緊急安全対策として、センターブロック設置が実現

●健康づくり・医療提供体制の確保



- 新たにがん検診啓発キャラクター「がんムシ君」を活用した、がん検診受診率向上に向けた集中的な啓発(R7.9～)
- オンライン診療機能を持つ専用車輛を活用した「医療MaaS」を導入(R7.11)

●徳島新未来創生に向けた教育再生



- トビタテ!留学JAPAN新・日本代表プログラム「拠点形成支援事業」に採択(全国9番目)
- 児童生徒が保護者等と一緒に、平日に校外で体験や探究の学び・活動を自ら企画し実行する「ラーニングの日」の拡大

●「こどもまんなか社会」の実現



- 全市町村において、0～2歳児の保育料無償化を第1子以降へ拡充(R7.9～)
- 「共働き・共育て」の推進 男性育休の取得促進をはじめ、男女ともに、仕事と子育てが両立できる職場環境づくりに取り組む中小企業等への奨励金を創設(R7.7～)

透明度

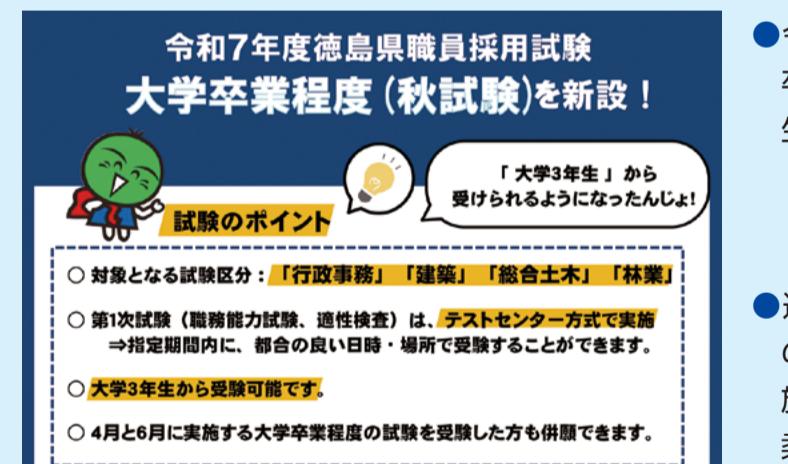
働きやすく、風通しのよい県庁組織によって「透明」で開かれた県政を実現します。

●開かれた県政運営の推進



- 徳島県産木材をふんだんに使用した県庁11階「食堂・展望者ロビー」のリノベーション(R7.3.24)
- 県庁1階を開放し、「大阪・関西万博」での徳島県の取組を紹介。美しい伝統工芸やサステナブルな取組、国際交流の成果などを展示(R7.12.1～R8.3.31)
- 県議会議場にて、「阿波っ子未来会議」を開催し、こども委員(中学～大学)21名が参加して、県の課題解決に向けた提案を実施(R7.8.19)
- 万代ふ頭イベントと連携した徳島県庁クリスマスマルシェの開催(R7.12.24～12.25)

●新次元の職員採用 魅力ある職場環境づくり



- 令和7年度県職員採用試験で「大学卒業程度(秋試験)」を新設(大学3年生から受験可能)
- 選択的週休3日の試行、テレワークの柔軟化、ワーケーションの本格実施、軽装勤務の通年化、名札表記の柔軟化(R7.4～)

●DXの推進



- グーグル・クラウド・ジャパン合同会社との「徳島県のDX推進」に向けた連携協定の締結(R7.1.9)
- 官民共創で新たな価値とビジネスを生み出し、地域課題の解決とDX人材の育成に取り組む拠点となる、「とくしまDX推進HUB(愛称:toku-Noix[とくのわ])」を開設